

【お詫び】 Vol.32の記載内容訂正

本誌メールサービスVol. 32でご紹介した「1.5時間、2.5時間耐火構造の新設」について、下記の誤りが判明しました。

- ・ 該当箇所：外壁(耐力壁)の耐火時間を2.5時間、3時間と記載していましたが、正しくはいずれも『2時間』でした。

ご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、下記の通り訂正させていただきます。

【正】

建築物の部分	時間					
	最上階及び最上階から数えた階数が2以上4以内	最上階から数えた階数が5以上で9以内	最上階から数えた階数が10以上で14以内	最上階から数えた階数が15以上で19以内	最上階から数えた階数が20以上の階	
壁	間仕切壁(耐力壁)	1時間	1.5時間	2時間	2時間	2時間
	外壁(耐力壁)	1時間	1.5時間	2時間	2時間	2時間
柱	1時間	1.5時間	2時間	2.5時間	3時間	
床	1時間	1.5時間	2時間	2時間	2時間	
はり	1時間	1.5時間	2時間	2.5時間	3時間	
屋根	30分間					
階段	30分間					

【誤】

建築物の部分	時間					
	最上階及び最上階から数えた階数が2以上4以内	最上階から数えた階数が5以上で9以内	最上階から数えた階数が10以上で14以内	最上階から数えた階数が15以上で19以内	最上階から数えた階数が20以上の階	
壁	間仕切壁(耐力壁)	1時間	1.5時間	2時間	2時間	2時間
	外壁(耐力壁)	1時間	1.5時間	2時間	2.5時間	3時間
柱	1時間	1.5時間	2時間	2.5時間	3時間	
床	1時間	1.5時間	2時間	2時間	2時間	
はり	1時間	1.5時間	2時間	2.5時間	3時間	
屋根	30分間					
階段	30分間					

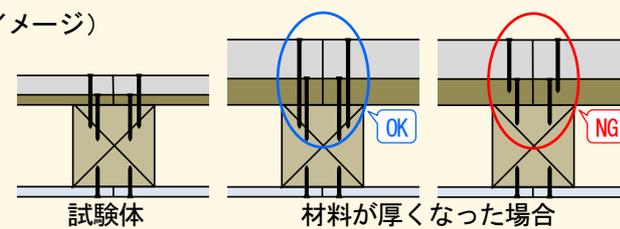
【お知らせ】 留付け材の留付け先およびかかり代に関する注意事項の評価書への記載について

一般社団法人建築性能基準推進協会の防耐火構造WGIにて、標記の取り決めがなされました。概要を以下に示します。

○背景

留付け材の留付け先とかかり代は、留付けている材料の固定度や脱落性状に大きく影響します。そのため、固定度や脱落性状が試験体に劣らないよう、材料が厚くなった場合には、試験体と同じ留付け先に十分なかかり代で留付けなければなりません。

イメージ



上記について、防耐火構造大臣認定にかかわらず基本的に遵守されるものという想定のもと、これまでは明記しておりませんでした。この度、所定の性能を担保するためには明記が必要との判断になりました。

○対象

留付け材のかかり代が性能に影響を与える防耐火構造案件
 ※基本的には全ての防耐火構造案件

○内容

評価書の5. 施工手順に下記の文言を記載することになります。

※注意事項

・ 本構造に使用される各留付け材は、構造説明図に記載される所定の留付け先に十分なかかり代が確保されるよう、留付けている材料の寸法に応じた適切な長さで使用する。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【試験設備紹介】電気炉(ADVANTEC社製 FUW263PB)

1150℃までの高温加熱実験が簡易的にできる、電気炉について紹介いたします。電気炉は一定の温度を維持する「定値運転」や、温度上昇・温度維持を時間で設定できる「プログラム運転」、直火(バーナー)加熱では再現できないような加熱も可能です。また、重量変化を計測しながらの加熱も可能ですので、基礎物性取得のための素材試験や製品開発実験などに活用ください。

炉のスペック

使用温度範囲

100℃～1,150℃

温度上昇時間

約60分で1,150℃

炉内寸法

W310×D610×H310

測定可能項目

- ・炉内温度
- ・試験体温度
- ・質量



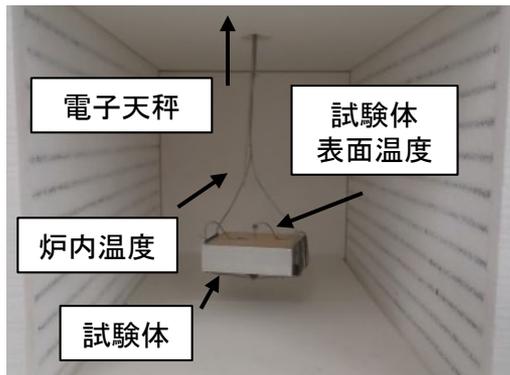
時間(分)

プログラム運転の例

※加熱温度は任意に設定することが可能です。

実験例

電気炉の特徴を利用し、木材の樹種や密度が炭化のしやすさへ及ぼす影響を確認するための実験や、コンクリートの劣化深さを確認するための実験を実施。



木材の加熱実験※

※クリックしていただくと各実験の関連資料を閲覧できます。



コンクリートの加熱実験※

【お知らせ】主な試験の空き状況

防耐火構造試験、防火材料試験

下記リンクから、試験日程の空き状況をご確認いただけます。掲載の無い試験の空き状況についてはお問い合わせください。

◆GBRC 耐火試験日程空き状況・認定交付状況・その他リンク集

<https://sites.google.com/view/gbrc-testblankday-list>

表中が「×」でも空きがある可能性もございます。

お急ぎの際はご相談ください。

詳細は下記担当者もしくは評価打合せ担当までお問合せください。

○担当者

- | | |
|------------|--------------------------|
| 壁炉 | ⇒ 井上(m-inoue@gbrc.or.jp) |
| 柱炉・水平炉・小型炉 | ⇒ 今福(imafuku@gbrc.or.jp) |
| 防火材料 | ⇒ 大上(oue@gbrc.or.jp) |

GBRC業務説明会開催のご案内

防耐火構造・防火材料の性能評価に関する業務説明会を下記のとおり開催いたします。

- ・開催期間：2023年11月17日(金)～2023年12月15日(金)
- ・開催方法：オンデマンド方式による動画配信

今回の業務説明会では、「防耐火構造等の性能評価に関する最新ルール」、「防火材料、屋根飛び火の性能評価」、「各種試験炉を用いた試験方法の概要」のほか、新たな試験方法である「パッケージ型評価試験方法」等についてご説明いたします。

以下のURLよりお申込みいただけますようお願い申し上げます。

※お申し込み後、GBRC業務説明会視聴用URLをお送りいたします。

<https://hyotei.gbrc.cloud/seminar/taika/>

多数の方々のご参加をお待ちしております。

2023年度日本建築学会大会（近畿）学術講演会 研究発表

2023年9月12日(火)～9月15日(金)の4日間で開催された2023年度日本建築学会大会にて、防耐火関連では当法人から下表に示す5題を報告しましたので、概要をご紹介します。

講演番号	題名	発表者	概要
3014	鉛直設置によるコーンカロリーメータ試験の口火位置に関する検討 その1 実験概要	土橋常登 (防耐火構造・材料試験室)	コーンカロリーメータ試験(ISO5660-1)は、試験体を水平に設置するのが標準的であるが、鉛直設置でも試験可能である(同Annex E)。設置向きおよび鉛直設置の口火位置の違いが、着火時間や発熱速度等の試験結果に及ぼす影響を実験的に検討した結果を報告した。
3015	鉛直設置によるコーンカロリーメータ試験の口火位置に関する検討 その2 実験結果	小宮祐人 (防耐火構造・材料試験室)	
3018	ガス有害性試験におけるCOガスに着目した毒性評価についての検討	正木智大 (防耐火構造・材料試験室)	ガス有害性試験は実験動物を用いた試験方法である。実験動物による試験を代替する手法を検討するため、当法人が実施した当該試験の燃焼生成ガスから得られた実験動物の行動停止時間とCO濃度に着目した分析結果を報告した。
3030	内装制限に用いる不燃材料等に係る検討 その4 コーンカロリーメータを用いた加熱試験	大上尊子 (防耐火構造・材料試験室)	コーンカロリーメータ装置を用いて、火気使用室に用いる内装材料の評価方法を検討した。今回は加熱強度に応じた防火性能を評価する上で、試験体の定常状態の判定方法および表面温度の測定方法について報告した。
3036	溶断火花の飛散範囲および火災リスクに関する実験的検討	玉井裕介 (評価業務室)	建設工事現場の火災要因の1つとされている溶断火花の火災リスクについて検討した。自動ガス切断機を用いて、溶断条件による火花の飛散範囲変化や熱影響程度を把握し、スパッタシートなどを用いた対策法の効果検証について報告した。

【おしらせ】適格請求書（インボイス）対応について

GBRC発行の請求書は、2023年10月より導入の適格請求書（インボイス）としてご利用いただけます。

①T5120905004673：適格請求書発行事業者登録番号

登録事業者発行のインボイスであることを表しています。

②適用税率、税率毎の請求額、税率毎の消費税額

仕入額控除を受けるための、税率、および税区分毎の請求額・消費税額が記載された請求書となっています。これにより納付する消費税を正しく計算することが出来ます。

電子発行請求書の例

No. xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxX
2023年10月10日

xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxX 御中

請求書

一般財団法人日本建築総合試験所
大阪府池田市豊島南二丁目204番地

TEL: 072-768-8201
取扱者: 耐火部 尾仲、横山
Eメール: onaka@gbrc.or.jp, seinou2@gbrc.or.jp

登録番号: T5120905004673

お支払期限 2023年10月10日	請求額 12,345円										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="font-size: 0.8em;">10%対象額(税抜)消費税額</td> <td style="font-size: 0.8em;">8%対象額(税抜)消費税額</td> <td style="font-size: 0.8em;">非課税対象額</td> <td style="font-size: 0.8em;">不課税対象額</td> <td style="font-size: 0.8em;">輸出免税対象額</td> </tr> <tr> <td align="right">12,345円</td> <td align="right">12,345円</td> <td align="right">12,345円</td> <td align="right">12,345円</td> <td align="right">12,345円</td> </tr> </table>		10%対象額(税抜)消費税額	8%対象額(税抜)消費税額	非課税対象額	不課税対象額	輸出免税対象額	12,345円	12,345円	12,345円	12,345円	12,345円
10%対象額(税抜)消費税額	8%対象額(税抜)消費税額	非課税対象額	不課税対象額	輸出免税対象額							
12,345円	12,345円	12,345円	12,345円	12,345円							

【スケジュール】性能評価委員会

下記の予定となります。GBRCのホームページでもご確認いただけます。
https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/committee/

	11月	12月	1月	2月	3月
防耐火構造部材	6日	11日	10日	16日	11日
性能評価委員会	27日	25日	29日	27日	28日
防火材料性能評価委員会	30日	26日	未定	未定	未定

【編集後記】

早いもので2023年度も半分が過ぎ、昨年までは、「そろそろインフルエンザの予防接種の準備を始めようか」などと話題にのぼる時期かと思います。ですが、今年はどうでしょう？早くも9月にはインフルエンザへの感染報告がニュースに流れ、予防接種も整わないまま、流行りの波に飲み込まれるようです。ご自愛ください。招かれざる客の襲来と言えば「カラムシ」の大量発生にも困ったものです。今年の大量発生は数は平常の3倍を超え、自治体によっては、カラムシ駆除費用に対し補助金を支給しているところもあるようです。気になるかたは情報収集してみたいかがでしょうか。今後ともGBRCをよろしく願い致します。(橋本)

【認定情報】大臣認定期間

2023年10月現在、認定書交付まで、申請後**約3ヶ月以上を要**しています。
 (昨年度より、交付までの時間が長くなっております。)
 交付状況は、以下の「情報共有サイト」にて確認いただけます。
 交付があれば随時更新しております。ぜひご覧ください。

サイトURL: <https://sites.google.com/view/gbrc-testblankday-list>

発行者: 一般財団法人 日本建築総合試験所
 試験研究センター 耐火部 評価業務室
 TEL: 072(768)8201 E-mail: seinou2@gbrc.or.jp